

# 2019年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金状況

(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

都道府県	実行委員会		ライオンズクラブ		ロータリークラブ		募金額合計		
	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額	件数	募金額	
1	北海道	59	409,798	3	106,513	0	0	62	516,311
2	青森	31	345,918	4	42,236	0	0	35	388,154
3	岩手	46	127,317	0	0	0	0	46	127,317
4	宮城	41	235,330	0	0	2	39,835	43	275,165
5	秋田	126	386,968	4	87,311	0	0	130	474,279
6	山形	39	445,309	3	20,000	0	0	42	465,309
7	福島	118	2,360,906	0	0	0	0	118	2,360,906
8	茨城	248	917,039	3	86,839	1	23,330	252	1,027,208
9	栃木	8	101,234	0	0	0	0	8	101,234
10	群馬	24	94,820	0	0	0	0	24	94,820
11	埼玉	236	1,956,302	2	542,500	0	0	238	2,498,802
12	千葉	61	351,052	3	41,918	9	88,644	73	481,614
13	東京	241	1,624,228	0	0	0	0	241	1,624,228
14	神奈川	62	1,035,304	0	0	4	156,346	66	1,191,650
15	新潟	119	194,582	2	51,491	0	0	121	246,073
16	富山	2	391,364	0	0	0	0	2	391,364
17	石川	16	323,351	5	56,290	3	60,799	24	440,440
18	福井	5	351,027	1	5,000	0	0	6	356,027
19	山梨	6	224,266	0	0	0	0	6	224,266
20	長野	237	771,932	1	10,364	46	807,211	284	1,589,507
21	岐阜	156	360,325	1	8,267	0	0	157	368,592
22	静岡	47	336,399	23	239,748	1	10,000	71	586,147
23	愛知	47	219,664	0	0	0	0	47	219,664
24	三重	65	176,309	4	68,451	8	154,639	77	399,399
25	滋賀	13	37,299	5	111,349	1	6,188	19	154,836
26	京都	76	276,063	2	19,496	0	0	78	295,559
27	大阪	45	543,104	48	712,942	15	270,373	108	1,526,419
28	兵庫	21	293,538	0	0	0	0	21	293,538
29	奈良	11	61,323	0	0	0	0	11	61,323
30	和歌山	25	119,727	15	220,053	9	115,738	49	455,518
31	鳥取	27	86,076	0	0	0	0	27	86,076
32	島根	50	160,910	4	35,017	0	0	54	195,927
33	岡山	48	274,189	13	67,494	0	0	61	341,683
34	広島	48	479,053	2	753,793	5	193,386	55	1,426,232
35	山口	59	1,235,564	5	39,995	4	160,543	68	1,436,102
36	徳島	8	570,427	0	0	0	0	8	570,427
37	香川	6	50,525	2	23,300	0	0	8	73,825
38	愛媛	2	1,971,203	0	0	0	0	2	1,971,203
39	高知	39	274,261	1	6,213	0	0	40	280,474
40	福岡	48	258,021	19	201,687	0	0	67	459,708
41	佐賀	43	265,887	0	0	0	0	43	265,887
42	長崎	45	278,931	0	0	0	0	45	278,931
43	熊本	36	232,224	0	0	0	0	36	232,224
44	大分	68	868,617	2	10,000	1	4,472	71	883,089
45	宮崎	74	344,935	0	0	0	0	74	344,935
46	鹿児島	57	543,351	0	0	1	9,750	58	553,101
47	沖縄	196	970,313	1	10,000	0	0	197	980,313
	合計	3,085	23,936,285	178	3,578,267	110	2,101,254	3,373	29,615,806

	振込件数	募金額
実行委員会	3,085	23,936,285
ライオンズ	178	3,578,267
ロータリー	110	2,101,254
官公庁／団体	44	777,136
企業／その他	258	1,315,385
総計	3,675	31,708,327

2019年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金は12月15日で締め切りました。

12月16日からの分は、2020年度の募金に計上されます。

尚、ライオンズクラブ、ロータリークラブの募金が実行委員会に含まれている場合もあります。

「俺たちは、**猟犬だ!**」

元・関東信越厚生局  
麻薬取締部部长  
**瀬戸晴海**  
はる  
うみ

# マトリ

厚労省麻薬取締官

密輸組織との熾烈な攻防、違法薬物の摘発、「運び屋」にされた女性の裏事情、ネット密売人の猛追、薬物依存の家族の救済……知られざる薬物犯罪と精鋭三百名による捜査の実態。

**本邦初!**

元麻薬取締部部长が  
すべてを明かす。



● 定価(本体820円+税)

新潮新書

新潮社 <https://www.shinchosha.co.jp>

## 介護付有料老人ホームと在宅福祉のご案内です。

### 八王子市暁町



### ●シルバーレジッド八王子

直下型地震にも対応  
安心の免震構造  
●シルバーレジッド日野東館



多摩モノレール  
甲州街道駅徒歩1分!!  
●シルバーレジッド日野



八王子市宮下町  
●シルバーレジッド八王子西



八王子に隣接  
救急指定右田病院



日野・日野東館に隣接  
康明会  
ホームケアクリニック

在宅福祉部  
●居宅介護支援事業所  
シルバーレジッドいちょうの里  
●訪問介護事業所  
シルバーレジッドいちょうの杜  
●セカンドライフ応援倶楽部  
シルバーレジッドいちょうの実

「ゆったりと安心の毎日」をお届けしています。  
**SV シルバーレジッド**

パンフレットのご請求は  
**0120-19-0432**

ホームページ **シルバーレジッド** 検索

株式会社シルバーレジッド 代表取締役会長 石井 征二(八王子陵東LC)

# 令和元年上半期における薬物情勢（暫定値）について

（令和元年9月警察庁組織犯罪対策部組織犯罪対策企画課公表資料「令和元年上半期における組織犯罪の情勢」より抜粋）

## ● 薬物事犯の検挙状況

薬物事犯（覚醒剤事犯、大麻事犯、麻薬及び向精神薬事犯及びあへん事犯をいう。以下同じ。）の検挙人員は近年横ばいが続く中、令和元年上半期は、6,278人と前年同期に比べわずかに減少した。

このうち覚醒剤事犯検挙人員は3,970人と減少が続いている一方で、大麻事犯検挙人員は2,093人と平成26年以降増加が続いており、薬物事犯別検挙人員における大麻事犯の比率が上昇している。

〔薬物事犯別検挙件数及び検挙人員の推移〕

区分		年別					H30 上半期	R元 上半期
		H26	H27	H28	H29	H30		
覚醒剤事犯	検挙件数	15,355	15,980	15,219	14,325	14,135	6,768	5,546
	検挙人員	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	4,645	3,970
大麻事犯	検挙件数	2,362	2,771	3,439	3,965	4,687	2,203	2,646
	検挙人員	1,761	2,101	2,536	3,008	3,578	1,690	2,093
麻薬及び 向精神薬事犯	検挙件数	637	706	784	840	862	451	461
	検挙人員	378	398	412	409	415	223	214
あへん事犯	検挙件数	24	6	11	12	6	2	2
	検挙人員	24	3	6	12	1	1	1
合計	検挙件数	18,378	19,463	19,453	19,142	19,690	9,424	8,655
	検挙人員	13,121	13,524	13,411	13,542	13,862	6,559	6,278

注1：本表の数値には、各薬物に係る麻薬特例法違反の検挙件数・人員の数値を含む。

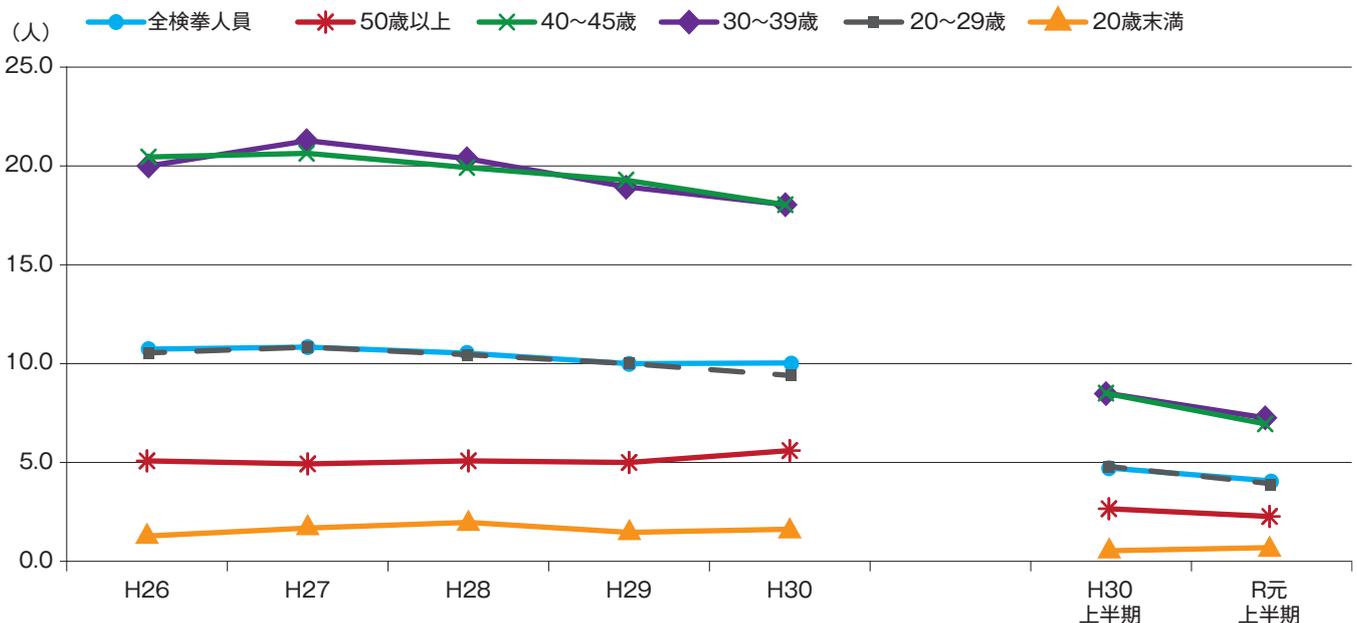
注2：本表の薬物事犯は、覚醒剤事犯、大麻事犯、麻薬及び向精神薬事犯及びあへん事犯をいい、犯罪統計による。

### （1）覚醒剤事犯の検挙状況

#### ア 年齢層別の検挙状況

年齢層別で見ると、人口10万人当たりの検挙人員は、20歳未満が0.6人、20歳代が3.7人、30歳代が7.5人、40歳代が7.1人、50歳以上が2.2人であり、最も多い年齢層は30歳代、次いで40歳代となっている。

〔人口10万人当たりの覚醒剤事犯検挙人員の推移〕



## 〔覚醒剤事犯年齢別検挙人員の推移〕

区分		年別					H30 上半期	R元 上半期	
		H26	H27	H28	H29	H30			
覚醒剤事犯	検挙人員	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	4,645	3,970	
	人口10万人当たりの検挙人員	10.7	10.7	10.4	9.9	9.7	4.6	3.9	
	年齢別	50歳以上	2,486	2,324	2,353	2,347	2,615	1,201	1,038
		人口10万人当たりの検挙人員	5.2	4.9	5.0	4.9	5.5	2.5	2.2
		構成比率(%)	22.7	21.1	22.5	23.2	26.5	25.9	26.1
		40～49歳	3,697	3,779	3,592	3,587	3,352	1,565	1,325
		人口10万人当たりの検挙人員	20.5	20.5	19.7	18.9	17.7	8.3	7.1
		構成比率(%)	33.7	34.3	34.4	35.5	34.0	33.7	33.4
		30～39歳	3,301	3,383	3,089	2,862	2,642	1,245	1,100
		人口10万人当たりの検挙人員	19.8	21.0	20.0	18.6	17.6	8.3	7.5
		構成比率(%)	30.1	30.7	29.5	28.3	26.8	26.8	27.7
		20～29歳	1,382	1,417	1,287	1,226	1,163	593	465
		人口10万人当たりの検挙人員	10.6	11.0	10.2	9.8	9.3	4.7	3.7
		構成比率(%)	12.6	12.9	12.3	12.1	11.8	12.8	11.7
		20歳未満	92	119	136	91	96	41	42
		人口10万人当たりの検挙人員	1.3	1.7	1.9	1.3	1.4	0.6	0.6
	構成比率(%)	0.8	1.1	1.3	0.9	1.0	0.9	1.1	
		うち中学生	2	1	7	0	3	0	0
		うち高校生	11	14	18	8	13	5	5
		大学生	11	18	8	19	15	3	12

注1：算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在人口推計」又は「国勢調査結果」による。

注2：20歳未満の人口10万人当たりの検挙人員は14歳から19歳までの人口を基に、50歳以上の人口10万人当たりの検挙人員は50歳から79歳までの人口を基にそれぞれ算出。

## イ 再犯者率

## 〔覚醒剤事犯の再犯者率の推移〕

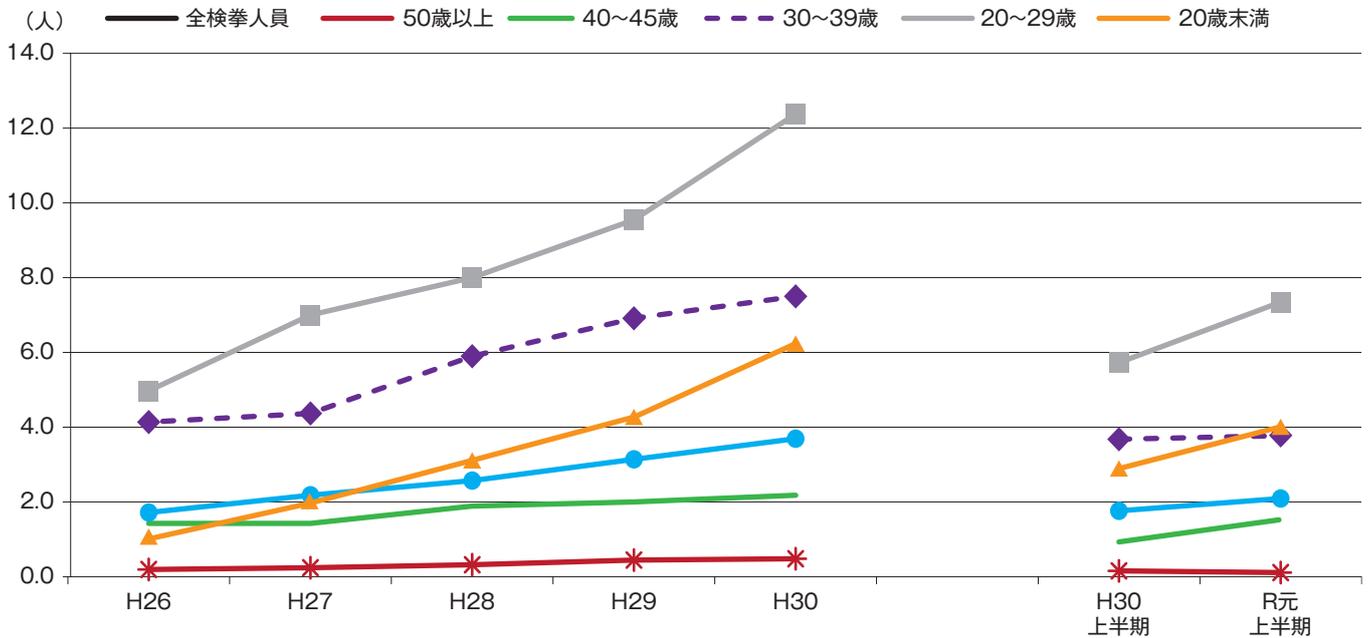
区分		年別										H30 上半期	R元 上半期	
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30			
覚醒剤事犯	検挙人員	11,655	11,993	11,852	11,577	10,909	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	4,645	3,970	
	再犯者数	6,765	7,114	7,038	7,116	6,899	7,067	7,147	6,804	6,647	6,521	3,089	2,649	
	再犯者率(%)	58.0	59.3	59.4	61.5	63.2	64.5	64.8	65.1	65.7	66.1	66.5	66.7	
	年齢別 再犯者率	50歳以上	82.1	81.2	81.5	81.3	79.8	80.2	83.1	82.3	82.4	82.6	83.2	83.5
		40～49歳	69.6	72.2	70.4	70.0	69.7	71.2	72.2	72.1	72.1	71.8	71.6	73.4
		30～39歳	55.3	56.2	56.1	56.8	58.9	57.3	57.9	56.9	58.5	57.9	59.8	57.3
		20～29歳	35.8	35.3	32.9	37.6	39.0	39.2	36.0	38.9	35.6	35.4	37.1	37.4
		20歳未満	18.7	12.7	12.0	14.9	15.3	5.4	16.0	12.5	16.5	13.5	14.6	11.9

## (2) 大麻事犯の検挙状況

### ア 年齢層別の検挙状況

年齢層別で見ると、人口10万人当たりの検挙人員は、20歳未満が4.0人、20歳代が7.3人、30歳代が3.7人、40歳代が1.4人、50歳以上が0.2人であり、最も多い年齢層は20歳代、次いで20歳未満となっている。

(人口10万人当たりの大麻事犯検挙人員の推移)



(大麻事犯年齢別検挙人員の推移)

区分		年別	H26	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期	
大麻事犯	検挙人員		1,761	2,101	2,536	3,008	3,578	1,690	2,093	
	人口10万人当たりの検挙人員		1.7	2.1	2.5	3.0	3.5	1.7	2.1	
	年齢別	50歳以上		88	104	113	152	157	73	105
		人口10万人当たりの検挙人員		0.2	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2
		構成比率 (%)		5.0	5.0	4.5	5.1	4.4	4.3	5.0
		40~49歳		257	263	326	347	370	175	255
		人口10万人当たりの検挙人員		1.4	1.4	1.8	1.8	2.0	0.9	1.4
		構成比率 (%)		14.6	12.5	12.9	11.5	10.3	10.4	12.2
		30~39歳		678	700	899	1,038	1,101	538	537
		人口10万人当たりの検挙人員		4.1	4.3	5.8	6.8	7.3	3.6	3.7
		構成比率 (%)		38.5	33.3	35.4	34.5	30.8	31.8	25.7
		20~29歳		658	890	988	1,174	1,521	707	913
		人口10万人当たりの検挙人員		5.0	6.9	7.9	9.4	12.2	5.7	7.3
		構成比率 (%)		37.4	42.4	39.0	39.0	42.5	41.8	43.6
		20歳未満		80	144	210	297	429	197	283
		人口10万人当たりの検挙人員		1.1	2.0	3.0	4.1	6.0	2.8	4.0
構成比率 (%)			4.5	6.9	8.3	9.9	12.0	11.7	13.5	
	うち中学生		3	3	2	2	7	1	4	
	うち高校生		18	24	32	53	74	34	51	
	大学生		27	31	40	55	100	46	60	

注1：算出に用いた人口は、各前年の総務省統計資料「10月1日現在人口推計」又は「国勢調査結果」による。

注2：20歳未満の人口10万人当たりの検挙人員は14歳から19歳までの人口を基に、50歳以上の人口10万人当たりの検挙人員は50歳から79歳までの人口を基にそれぞれ算出。

## イ 初犯者率

〔大麻事犯の初犯者率の推移〕

区分		年別										H30 上半期	R元 上半期	
		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30			
大麻事犯	検挙人員	2,920	2,216	1,648	1,603	1,555	1,761	2,101	2,536	3,008	3,578	1,690	2,093	
	初犯者数	2,475	1,803	1,323	1,292	1,208	1,385	1,613	1,962	2,294	2,741	1,293	1,624	
	初犯者率 (%)	84.8	81.4	80.3	80.6	77.7	78.6	76.8	77.4	76.3	76.6	76.5	77.6	
	年齢別	50歳以上	63.2	65.5	62.7	62.0	46.3	71.6	57.7	66.4	60.5	64.3	61.6	59.0
		40～49歳	78.1	64.2	74.1	71.0	71.1	69.3	66.5	70.6	66.0	64.9	63.4	66.3
		30～39歳	82.0	82.0	77.8	79.2	78.0	79.4	75.1	74.6	70.9	69.7	72.1	73.7
		20～29歳	88.0	84.0	83.6	85.0	81.5	81.0	80.9	80.5	82.6	81.2	79.6	81.2
20歳未満		87.7	89.6	91.4	93.9	93.2	91.3	91.7	91.0	89.9	92.8	94.4	90.5	

## ウ 違反態様別の検挙状況

〔大麻栽培事犯の検挙状況の推移〕

区分	年別	H26	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
		検挙件数	130	115	144	191		
検挙人員		116	107	116	138	152	46	63
暴力団構成員等		16	25	35	53	25	4	17

## ● 危険ドラッグ事犯の検挙状況

### (1) 危険ドラッグ事犯の検挙状況

危険ドラッグ※事犯の検挙状況は104事件、108人と前年に引き続き減少した。

※ 危険ドラッグとは、規制薬物（覚醒剤、大麻、麻薬、向精神薬、あへん及びけしがらを用いる。以下同じ。）又は指定薬物（医薬品医療機器法第2条第15項に規定する指定薬物を用いる。以下同じ。）に化学構造を似せて作られ、これらと同様の薬理作用を有する物品をいい、規制薬物及び指定薬物を含有しない物品であることを標ぼうしながら規制薬物又は指定薬物を含有する物品を含む。

※ 危険ドラッグ事犯の検挙事件数及び人員は、実務統計（警察庁において調査等により集計する数値）による。

〔危険ドラッグに係る適用法令別検挙状況の推移〕

区分	年別										H30 上半期		R元 上半期	
	H26		H27		H28		H29		H30		事件数	人員	事件数	人員
	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員	事件数	人員				
指定薬物に係る医薬品医療機器法違反	401	492	895	960	713	758	555	578	336	346	224	227	94	98
乱用者による単純所持・使用等	312	326	671	695	495	519	390	404	231	235	153	154	72	74
麻薬及び向精神薬取締法違反	80	98	133	148	115	126	56	56	45	48	31	33	10	10
交通関係法令違反	157	160	36	36	8	7	1	1	1	1	1	1	0	0
その他法令違反	68	90	36	52	28	29	16	16	1	1	1	1	0	0
合計	706	840	1,100	1,196	864	920	628	651	383	396	257	262	104	108

注1：同一被疑者で関連する余罪を検挙した場合でも、一つの事件として計上。

注2：複数の罪で検挙されている場合、主たる罪・人員として計上。

注3：指定薬物に係る医薬品医療機器法違反は、危険ドラッグから指定薬物が検出された場合の検挙をいう。

注4：麻薬及び向精神薬取締法違反は、危険ドラッグから麻薬が検出された場合の検挙をいう。

注5：交通関係法令違反は、刑法（危険運転致死傷、自動車運転過失致死傷）、自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律違反（危険運転致死傷、過失運転致死傷）、道路交通法違反をいう。

注6：適用法令（罪名）は、検挙時点を基準として計上（交通関係法令違反の中には、送致時等の罪名変更のものあり）。

注7：乱用者による単純所持・使用等とは、26年4月1日から規制が新設された指定薬物の単純所持、使用、購入、譲受けによる違反態様のうち、販売目的等により検挙された供給者側を除くものをいう。

注8：交通関係法令違反及びその他法令違反には、規制薬物及び指定薬物が検出されなかった事件を含む。

注9：26年から指定薬物以外の医薬品医療機器法違反は、その他法令違反に計上。

## (2) 危険ドラッグ乱用者の検挙状況

危険ドラッグ事犯のうち、危険ドラッグ乱用者<sup>※</sup>の検挙人員は105人（構成比率97.2%）となっている。

※ 危険ドラッグ乱用者とは、危険ドラッグ事犯検挙人員のうち、危険ドラッグを販売するなどにより検挙された供給者側の検挙を除いたものをいう。

### ア 年齢層別の検挙状況

〔危険ドラッグ乱用者の年齢別検挙人員の推移〕

区分		年別	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
危険ドラッグ乱用者	検挙人員		966	838	605	368	240	105
	年齢層別	50歳以上	75	125	105	67	42	17
		構成比率(%)	7.8	14.9	17.4	18.2	17.5	16.2
		40～49歳	236	293	208	135	89	42
		構成比率(%)	24.4	35.0	34.4	36.7	37.1	40.0
		30～39歳	330	261	196	109	72	30
		構成比率(%)	34.2	31.1	32.4	29.6	30.0	28.6
		20～29歳	297	145	94	56	36	15
		構成比率(%)	30.7	17.3	15.5	15.2	15.0	14.3
20歳未満	28	14	2	1	1	1		
構成比率(%)	2.9	1.7	0.3	0.3	0.4	1.0		

### イ 薬物経験別の検挙状況

薬物経験別でみると、薬物犯罪の初犯者が56人（構成比率53.3%）、薬物犯罪の再犯者が49人（構成比率46.4%）となっている。

### ウ 危険ドラッグの入手状況

入手先別でみると、インターネットを利用して危険ドラッグを入手した者が41人（構成比率39.0%）と最も多くなっている。

〔危険ドラッグ乱用者の入手先別検挙人員の推移〕

区分		年別	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
危険ドラッグ乱用者	検挙人員		966	833	605	368	240	105
	入手先別	街頭店舗	265	130	84	33	20	5
		構成比率(%)	27.4	15.5	13.9	9.0	8.3	4.8
		インターネット	336	353	227	166	102	41
		構成比率(%)	34.8	42.1	37.5	45.1	42.5	39.0
		友人・知人	110	93	77	45	31	15
		構成比率(%)	11.4	11.1	12.7	12.2	12.9	14.3
		密売人	109	71	55	32	22	13
		構成比率(%)	11.3	8.5	9.1	8.7	9.2	12.4
その他・不明	146	191	162	92	65	31		
構成比率(%)	15.1	22.8	26.8	25.0	27.1	29.5		

### エ 危険ドラッグの使用が原因と疑われる死者数

〔危険ドラッグの使用が原因と疑われる死者数の推移〕

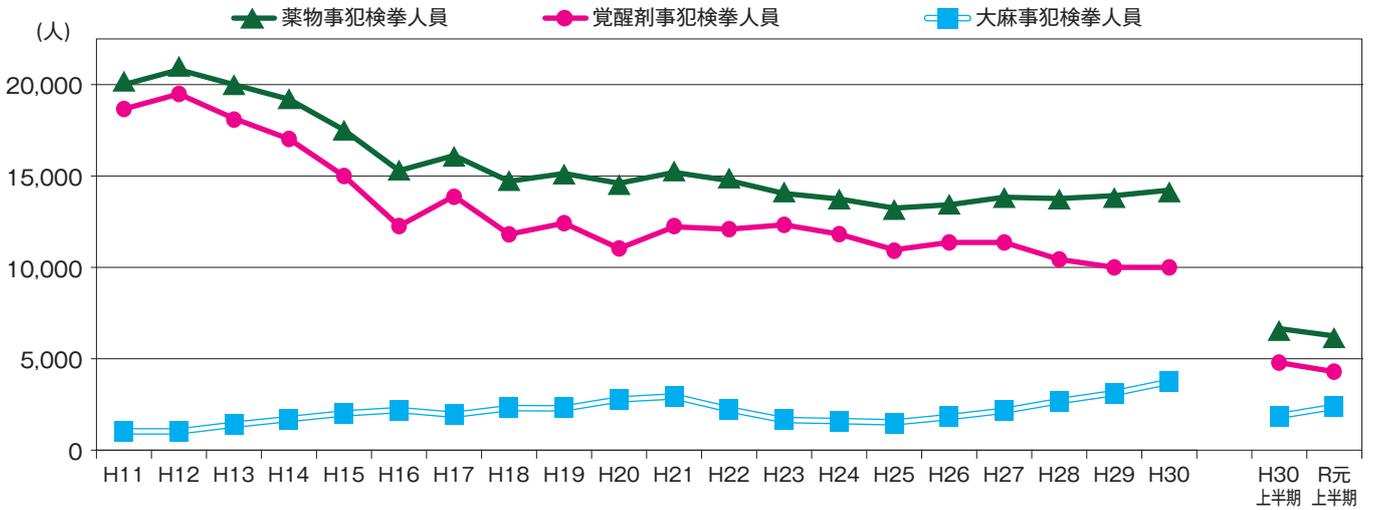
区分	年別	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
死者数		11	6	3	1	0	0

注1：令和元年6月末現在で警察庁に報告があったものを計上。

注2：発生日ではなく、認知日を基準として計上。

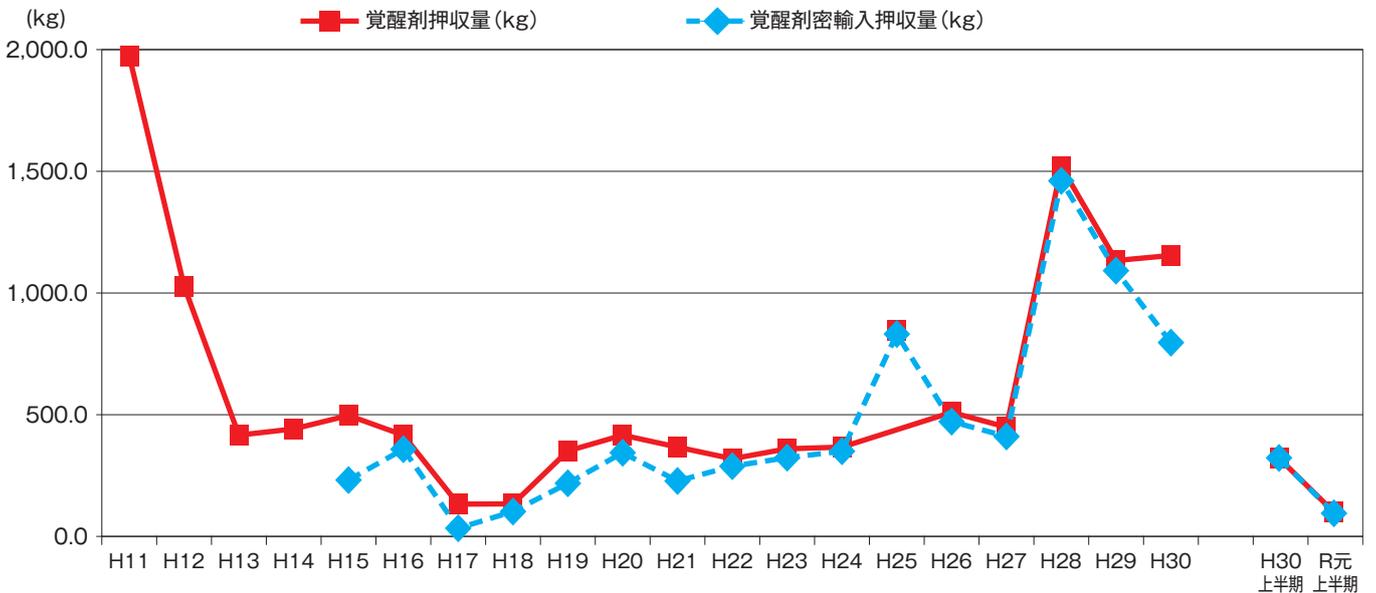
● 参考資料

(1) 薬物事犯検挙状況の推移 (平成11～令和元年上半期)



区分	年別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
薬物事犯検挙人員		19,764	20,382	19,647	18,823	17,171	15,048	15,803	14,440	14,790	14,288	14,947	14,529	13,768	13,466	12,951	13,121	13,524	13,411	13,542	13,862	6,559	6,278
覚醒剤事犯検挙人員		18,285	18,942	17,912	16,771	14,624	12,220	13,346	11,606	12,009	11,025	11,655	11,993	11,852	11,577	10,909	10,958	11,022	10,457	10,113	9,868	4,645	3,970
大麻事犯検挙人員		1,124	1,151	1,450	1,748	2,032	2,209	1,941	2,288	2,271	2,758	2,920	2,216	1,648	1,603	1,555	1,761	2,101	2,536	3,008	3,578	1,690	2,093

(2) 覚醒剤押収量の推移 (平成11～令和元年上半期)



区分	年別	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H30 上半期	R元 上半期
覚醒剤押収量 (kg)		1,975.9	1,026.9	406.1	437.0	486.8	406.1	118.9	126.8	339.3	397.5	356.3	305.5	338.8	348.5	831.9	487.5	429.7	1,495.4	1,118.1	1,138.6	318.8	148.0
覚醒剤密輸入押収量 (kg)		-	-	-	243.5	223.8	350.0	32.2	106.8	213.1	324.3	217.9	275.5	310.7	332.2	816.1	448.0	394.6	1,428.4	1,073.4	784.4	315.7	137.6